

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

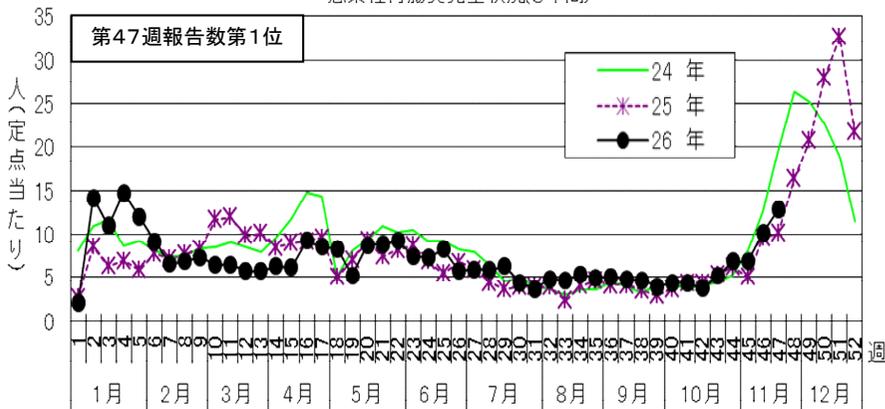
平成26年11月17日(月)～平成26年11月23日(日)〔平成26年第47週〕の感染症発生状況

第47週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)インフルエンザでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は12.85人と前週(10.21)からやや増加はみられるものの、例年とほぼ同じレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.79人と前週(2.64)からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

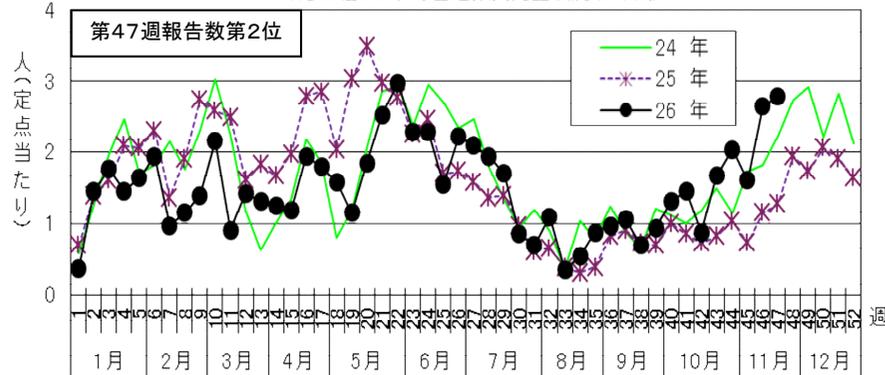
インフルエンザの定点当たり患者報告数は2.78人と前週(1.20)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



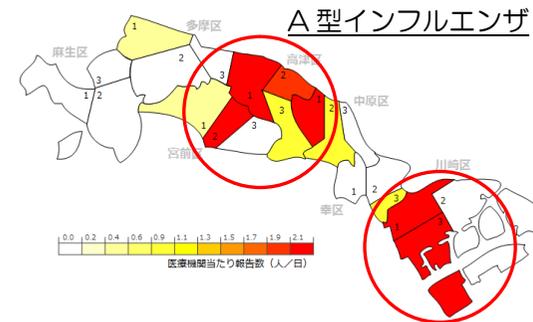
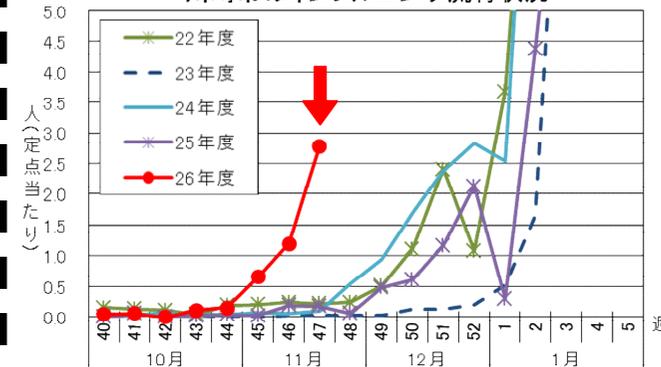
インフルエンザがさらに増加！！

11月以降、インフルエンザの患者報告数が増加し続けており、例年より早く流行が始まっています。また、川崎市感染症情報発信システムのリアルタイムサーベイランスでも、特に川崎区と高津区において患者数が増加しています。なお、11月26日時点で、市内の小中学校から学級閉鎖6件、学年閉鎖2件の報告がありました。



インフルエンザは、学校保健安全法において第二種感染症とされており、出席停止期間の基準は「発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日(幼児は3日)を経過するまで。」です。ご自身のためにも、他の人にうつさないためにも、インフルエンザと診断された場合は自宅で休養をとりましょう。

川崎市のインフルエンザ流行状況



川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)
リアルタイムサーベイランス公開情報
(平成26年11月25日報告分)

※11月26日15:00時点

URL: <https://kidss.city.kawasaki.jp/>